《Lesson 1》所有格の関係代名詞： whose

*先行詞	主格 【I】 ～は、～が	所有格 【My】 ～の	目的格 【Me】 ～に、～を
人	who	whose	whom / who
人以外 （動物・物・場所など）	which	whose	which
人・人以外（すべて）	that	—	that

＜特徴＞

・whose は、「先行詞」が「関係詞節」の中で所有格の働きをする時に使われる

・所有格の関係代名詞は、先行詞が「人」だけでなく「人以外」にも使える。

【所有格の関係代名詞が入るフレーズ：作り方】

＜例1＞　「お父さんが有名なアーティストの女の子」というフレーズを作る場合

＜例2＞　「屋根が赤い（その）家」というフレーズを作る場合

ステップ①：それぞれのフレーズを、「先行詞」と「関係詞節に入る文」に分ける。

	先行詞	関係詞節に入る文
＜例1＞	a girl ＜女の子＞	her father is a famous artist ＜彼女のお父さんは有名なアーティストです＞
＜例2＞	the house ＜（その）家＞	its roof is red ＜それの屋根は赤いです＞

ステップ②：「先行詞」と「関係詞節に入る文」の間に「関係代名詞」を置く。

「関係詞節に入る文」で、「先行詞」を指す代名詞（her / its）が「所有格」として使われているので、ここでは関係代名詞の whose が使われる。

	先行詞	関係代名詞	関係詞節に入る文
＜例1＞	a girl ＜女の子＞	**whose**	her father is a famous artist ＜彼女のお父さんは有名なアーティストです＞
＜例2＞	the house ＜（その）家＞	**whose**	its roof is red ＜それの屋根は赤いです＞

ステップ③：「関係詞節に入る文」の代名詞を取る。

	先行詞	関係詞節（関係代名詞＋文）
＜例1＞	a girl 女の子	whose father is a famous artist お父さんが有名なアーティストの
＜例2＞	the house （その）家	whose roof is red 屋根が赤い

これらのフレーズを文の中で使うと、例えば以下のようになります。

＜例文1＞ I teach a girl whose father is a famous artist.
（お父さんが有名なアーティストの女の子を私は教えています）

＜例文2＞ Can you see the house whose roof is red?
（屋根が赤い（その）家が見える？）

ポイント！ whose は、あまり自然な英語ではない場合もある

「whose は文法上は正しいが、自然でない表現」と考えるネイティブは少なくありません。例えば「屋根が赤い（その）家が見える？」という文では、関係代名詞を使うより、with を使った方が自然という意見もあります。

Can you see the house whose roof is red? = ○

Can you see the house with the red roof? = ◎

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。